

加茂川河口 干潟の生き物調査 報告 (令和8年5月30日実施)

令和8年5月30日(土曜日)、加茂川河口で今年も干潟の生きもの調査(市民参加型)を行いました。

【はじめに】

西条市加茂川河口には、貴重な干潟が残されています。ここでは、西条市主催による干潟の生き物観察会や、NPO法人 西条自然学校による定期的な調査が行われてきました。

平成27年(2015年)に、市民参加型の干潟の生き物調査が実施されました。当時の結果と報告は、西条市HPに掲載されています。

[加茂川河口 生きもの調査 結果報告\(平成27年9月26日実施\) - 愛媛県西条市ホームページ](https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/kankyo/chosakekka270926.html)
<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/kankyo/chosakekka270926.html>

昨年に引き続き、11年前と同じ手法を用いて、市民参加型の生き物調査を実施しました。



【調査結果】

	表層(S)		底土中(B)		合計(S+B)	
	発見班数	発見率(%)	発見班数	発見率(%)	発見率(%)	優占度
軟体動物門(巻貝)						
ゴマフダマ	8	80	3	30	80	+++
イボニシ	1	10	0	0	10	+
アカニシ	1	10	0	0	10	+
アラムシロ	9	90	4	40	90	+++
イソアワモチ	1	10	0	0	10	+
軟体動物門(二枚貝)						
シオフキ	0	0	8	80	80	+++
ニッコウガイ科	1	10	7	70	80	+++
オチバガイ	1	10	7	70	70	+++
アサリ	2	20	4	40	50	++
マテガイ	1	10	9	90	90	+++
ソトオリガイ	1	10	2	20	30	++
環形動物門(多毛類)						
チロリ科	0	0	6	60	60	++
コアシギボシイソメ	0	0	2	20	20	++
ミズヒキゴカイ	1	10	0	0	10	+
タマシキゴカイ	1	10	0	0	10	+
節足動物(エビ・カニの仲間)						
ヨコエビ類	2	20	0	0	20	++
ヘラムシ類	2	20	0	0	20	++
コツブムシ科	1	10	2	20	30	++
イソテッポウエビ類	2	20	2	20	40	++
エビジャコ類	4	40	3	30	60	++
ニホンスナモグリ	1	10	6	60	60	++
アナジャコ類	0	0	1	10	10	+
テナガツノヤドカリ	2	20	1	10	30	++
ユビナガホンヤドカリ	9	90	6	60	100	+++
キンセンガニ	0	0	1	10	10	+
マメコブシガニ	9	90	4	40	100	+++
マキトラノオガニ	2	20	0	0	20	++
トリウミアカイソモドキ	5	50	3	30	70	+++
モクズガニ	3	30	1	10	40	++
イソガニ	2	20	0	0	20	++
ケフサイソガニ	0	0	1	10	10	+
タカノケフサイソガニ	3	30	0	0	30	++
ヒライソガニ	1	10	1	10	20	++
ヒメベンケイガニ	1	10	0	0	10	+
コメツキガニ	0	0	3	30	30	++
オサガニ	2	20	4	40	40	++
ヤマトオサガニ	0	0	1	10	10	+
その他						
ヒラムシ類(扁形動物)	9	90	4	40	100	+++
ヒモムシ類(紐型動物)	0	0	1	10	10	+
イダテンギンボ(魚類)	0	0	1	10	10	+
ウナギ(魚類)	0	0	1	10	10	+

調査地域:加茂川右岸 先端 調査日時:2026年 5月 30日 15:00~17:00

10班(ひと班2~4名)で実施、合計(S+B)はSとBを区別せずに集計(何班が発見できたか)

優占度:+++優占種(発見率70%以上)

++,普通種(70%未満、10%あるいは発見者数2以上)

+,少数種(10%未満あるいは1班だけの発見)

【コメント】

執筆：光澤 安衣子（海星研）
調査リーダー：加藤 健司（新江ノ島水族館）
高田 光紀（水族館職員）
山本 貴仁（西条自然学校）

この加茂川河口干潟の生き物調査は、11年前と同じ手法・同じ場所で行っている市民参加型の調査です。4年間の調査のうち3年目となる今年も、たくさんの市民の皆さんにご参加いただきました。何年も継続して参加してくれた高校生もいて、生き物の採集や干潟の歩き方にも慣れた様子がみられ、とても頼もしく思いました。暑い中、ご参加いただき本当にありがとうございました。

今年、採集された生物は全部で41種類に分類できました。発見種数は11年前と比べてほとんど変化はありませんでしたが（2015年は40種類）、採集された生物については変化がありましたので、優占種※とその他特徴的な種について報告します。

優占種※（ゆうせんしゅ）……たくさん採集され、その環境を代表するような種。

優占種において、11年前と比べて発見数が50%以上減少した種は、以下の3種です。

- ・アサリ（発見率 今回：50%、2015年：100%）
- ・ヤマトオサガニ（発見率 今回：10%、2015年：75%）
- ・ヒモムシ類（発見率 今回：10%、2015年：100%）

愛媛県では、資源保護のため、2cm以下のアサリは採捕が禁止されています。今回、調査で採集されたアサリは、ほとんどが2cm以下の小さいアサリでした。規則に基づき、採集されたアサリは同定と観察を行ったのち、すべて干潟に戻しました。

干潟の水産有用種としてよく知られているアサリの発見率が、11年前と比べて大きく減少しました。この結果から、干潟環境の悪化を連想してしまいましたが、小さな個体が採集されたことは、この場所で再生産（新しい個体が生まれて、育つ）をしていることを表わしています。引き続き、採集をしないよう注意しながら、動態を見守りましょう。

優占種において、11年前と比べて発見数が50%以上増加した種は、以下の2種です。

- ・マメコブシガニ（発見率 今回：100%、2015年：25%）
- ・ヒラムシ類（発見率 今回：100%、2015年：0%）

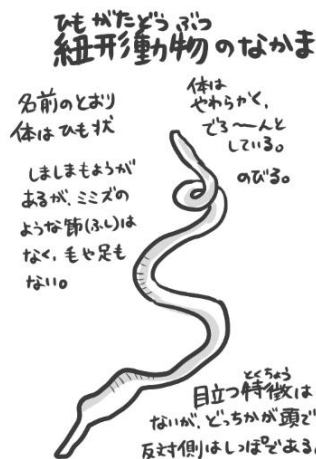
ヒラムシ類については、加藤さん（新江ノ島水族館）からウスヒラムシの可能性があるとコメントをいただきました。ただ、カニや貝などと違って、全国的にあまり詳しく調べられていない分類群であるため、種同定までは行わず「ヒラムシ類」としました。今回採集されたヒラムシたちは、すべて同じような色をしていたので同一種である可能性が高いですが、専門家が詳しく調べると複数の種類が混ざっている、という可能性もあります。

11年前は1個体も採集されなかったヒラムシ類が、すべての班が見つけられる（発見率100%）ほどに多かったことは、たいへん興味深い結果です。ヒラムシは、おもに磯の石の上などに生息し、貝を食べ

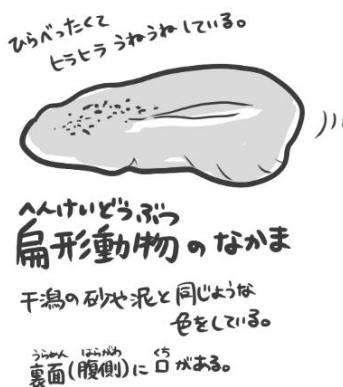
る肉食生物です。ヒラムシの増加は、一時的または季節的なものなのか、他の干潟生物にどのような影響を及ぼすのか等、今回の結果が今後の研究や情報の一助になることを期待します。

なまえにぜんぜんちがう干潟の生き物3種

ヒモムシ



ヒラムシ



ヘラムシ



また、優占種以外について、以下のことはとくに記録しておきたい項目です。

- ・2015年に1個体のみ採集されたユムシが、今回は1個体も採集されなかったこと
- ・2015年には採集されなかった、キンセンガニとイソアワモチが1個体ずつ採集されたこと

ユムシは、伊谷先生(高知大学)の2015年のコメントの中で「12年前はそこら中に巣穴を見つけられた」とあります。つまり、ユムシは2003年には加茂川の河口干潟にたくさんいたけれど、2015年の調査では1個体しか見つからず、今回2026年には1個体も見つけることができませんでした。私が観察した限りでは、ユムシの巣穴(小さな俵状の泥のかたまりの糞が特徴的)も、確認できませんでした。この20年ほどで、ユムシは大きく数を減らしてしまい、もしかしたら加茂川産のユムシはいなくなってしまったのかもしれない。

ユムシに代わって、今回の調査で採集された種が、キンセンガニとイソアワモチです。藤田さん(東予郷土館)によると、キンセンガニは河原津の干潟で、イソアワモチは壬生川港で近年よくみられる生物だそうです。これらは、前浜干潟や海岸に普通に生息している生物なので、加茂川河口干潟では川の影響力が弱くなっている可能性が考えられます。干潟は、海と川が交わる特殊な環境であり、生物環境のバランスは様々な要因によって成り立っています。約10年に一度のこの調査が、中期的な環境や生物の変化を捉え、いつまでもたくさんの生き物が生息できる干潟の今後を考える参考となれば嬉しいです。

【謝辞】

調査にご参加くださり、お力を貸して下さった以下の方々にお礼を申し上げます。

実施協力：河野 直子さん（西条高校 教諭）

参加者の皆さん：高橋 建策さん、高橋 慶太さん、高橋 宏太さん、吉岡 けんいちさん、野本 健司さん、河本 健一さん、玉置 公正さん、齋藤 和也さん、齋藤 湊さん、山崎 亮一さん、山崎 瑛太さん、南口 和也さん、南口 直輝さん、宮崎 直紹さん、宮崎 湊大さん、林田 美代さん、林田 詩羽さん、安藤 祐也さん、安藤 ゆりのさん

（西条高校）有馬 虎弥汰さん、黒川 泰輝さん、東 快樹さん、越智 悠貴さん、鶴川 温己さん、島本 雅弘さん、大谷 拓史さん、川又 美晴さん、神野 美桜さん、藤原 柊花さん、梶田 蓮介さん、黒川 千尋さん

最後に、市民参加型調査を主催し、企画、実施に際して多大なるご理解とご協力をくださった西条市役所 環境政策課の青野 さや香さん、三浦 彩楽さん他、課内の皆さまに、深くお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

